

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語ⅡB
科目基礎情報						
科目番号	0013		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	都市環境デザイン工学科		対象学年	2		
開設期	後期		週時間数	4		
教科書/教材	Power on Communcation English I , II Workbook (東京書籍), 夢をかなえる英単語 新コメタン (1) (アルク), 総合英語be New Edition (いっずな書店), English Grammar 26 Workbook (いっずな書店), ウィズダム英和辞典(三省堂)					
担当教員	坂元 真理子,アニス レーマン					
到達目標						
英文を読む・書く・聞く・話すための力を伸ばす。辞書を活用して自力で英文読解や英作文や発表ができることをめざす。英語を使った学習活動を通して社会や自分のことに目を向け、考える力をつける。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		基本的な到達レベルの目安(可)	
語彙	体系的に理解した語彙項目や文法項目を到達目標2～6の理想的な到達レベルの中で活用することができる。		教科書や副教材に出現する語彙や文法項目の意味や構造について体系的に理解し再生できる。		教科書や副教材に出現する語彙や文法項目の意味や構造について理解することができる。	
聞く	より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、与えられた課題や場面にに対し適切な反応を行うことができる。		与えられた課題や対話などの内容や意味について理解し、その事について適切な反応を行うことができる。		授業或いは自学自習で扱われる教材の内容について聞き取り理解することができる。	
読む	より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、与えられた課題や場面にに対し適切な反応を行うことができる。		与えられた課題や文章などの内容や意味について理解し、その事について適切な反応を行うことができる。		授業或いは自学自習で扱われる教材の内容について理解することができる。	
書く	より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、与えられた課題や場面にに対し適切な反応を口頭で行うことができる。		与えられた課題や指示に沿った内容の文または文章を口頭で話すことができる。		授業或いは自学自習で扱われる教材の内容や与えられた指示通りに音声を口頭で再生することができる。	
話す	より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、与えられた課題や場面にに対し適切な反応を記述で行うことができる。		与えられた課題や指示に沿った内容の文または文章を書く(作文する)ことができる。		授業或いは自学自習で扱われる教材の内容や与えられた指示通りに語句や文を記述で再生することができる。	
発表する	到達目標1から5で培われた能力やスキルを総合的に利用し、与えられた課題や場面にについて自分の考えやまとめたことを他者に向けて発表することができる。		到達目標1から5で培われた能力やスキルを総合的に利用して、与えられた型を応用して発表したり他者とコミュニケーションをとったりすることができる。		到達目標1から5で培われた能力やスキルを総合的に利用して他者の発表の内容を理解し、また与えられた型に従って他者とコミュニケーションをとることができる。	
学科の到達目標項目との関係						
本科(準学士課程)の学習・教育到達目標 2-b						
教育方法等						
概要	前期開講の英語ⅡAと共に本校での英語学習の最初の段階で修得すべき科目として位置付けている。学修すべき内容は英ⅢAへ引き継がれる。					
授業の進め方・方法	理解した内容や今までに学んだスキルを活かして発表や発信するための力につなげるため、授業の中において聞く・読む・話す・書くとう4つの技能を統合的に高めていくために必要な活動を行う。聞く・読む活動や文法、表現についての学習と理解を踏まえ、グループやペア、個人での調べ活動、話し合い、発表等を含んだタスクを行う。					
注意点	予習・復習を十分に行い、語彙力・構文理解力の強化と内容理解に努めること。英語でのコミュニケーション能力向上のため授業の殆どは英語で行うので、授業中は英語でのコミュニケーションに努めること。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション		本科目の目的、評価、授業の進め方、自宅学習の方法等について理解する。	
		2週	関係代名詞の非制限用法		関係代名詞(非制限用法)の概念や用法について理解し、正しく使用することができる。	
		3週	関係代名詞の非制限用法		関係代名詞(非制限用法)の概念や用法について理解し、正しく使用することができる。	
		4週	倒置		倒置が起こる状況や用法について理解し、正しく使用することができる。	
		5週	It seems that S + V		It seems that S + Vの用法について理解し、正しく使用することができる。	
		6週	It is said + that節		It is said + that節の用法について理解し、正しく使用することができる。	
		7週	S+V+C (V=be動詞, C=whether)		五文型のS+V+C (V=be動詞, C=whether)の用法について理解し、正しく使用することができる。	
		8週	後期中間試験		上記授業項目について達成度を確認する。	
	4thQ	9週	関係代名詞what		関係代名詞whatの用法について理解し、正しく使用することができる。	
		10週	関係代名詞what		関係代名詞whatの用法について理解し、正しく使用することができる。	
		11週	未来完了形		未来完了形の用法について理解し、正しく使用することができる。	

	12週	未来完了形	未来完了形の用法について理解し、正しく使用することができる。	
	13週	進行形の受け身	進行形+受動態の用法について理解し、正しく使用することができる。	
	14週	S+V+O+C (V=使役動詞, C=動詞の原形)	五文型のS+V+O+C (V=使役動詞, C=動詞の原形)の用法について理解し、正しく使用することができる。	
	15週	同格を表す接続詞that	同格を表す接続詞thatの用法について理解し、正しくまた適切に使用することができる。	
	16週	後期期末試験	上記授業項目について達成度を確認する。	
評価割合				
	試験	平常点	態度	合計
総合評価割合	60	40	0	100
目標達成度	60	40	0	100